目次

[1.概要 1](#_Toc362020411)

[2.品質(Quality)評価 1](#_Toc362020412)

[2.1品質評価の考え方 1](#_Toc362020413)

[2.2品質の考察 1](#_Toc362020414)

[3.コスト(Cost)評価 3](#_Toc362020415)

[3.1コスト評価の考え方 3](#_Toc362020416)

[3.2コストの考察 3](#_Toc362020417)

[4.納期(Delivery)評価 4](#_Toc362020418)

[4.1納期評価の考え方 4](#_Toc362020419)

[4.2納期の考察 4](#_Toc362020420)

**表目次**

[表 1　アンケート内容 1](#_Toc362601738)

[表 2　コスト実績 3](#_Toc362601739)

[表 3　スケジュール実績 4](#_Toc362601740)

## 1.概要

　このQCD評価報告書は，Googleマップ連携システム開発プロジェクトを評価した結果を報告するものである．

## 2.品質(Quality)評価

## 2.1品質評価の考え方

　　本システムの品質評価は，ISO/IEC9126の品質特性に基づいて行う．

調査方法は，アンケート調査とする．アンケート対象者は，ユーザ，シニアマネージャ，プロジェクトマネージャ(PM)である．

　　アンケート調査は，機能性，信頼性，使用性，効率性，保守性，移植性の6項目を基に質問事項を設け，(1:不満　2:やや不満　3:どちらでもない　4:やや満足　5:満足)の5段階評価で行う．

1~2は低品質であることを示し，修正が必要である．

3は及第点であることを示す．

4~5は高品質であることを示す．

表 1　アンケート内容



## 2.2品質の考察

* 総評
* アンケート調査の結果から，本システムの品質は及第点を超えていると判断できる．機能性，信頼性，使用性，効率性，移植性の5項目については，シニアマネージャとユーザから高い評価を頂いている．しかし，保守性に関してはあまり高い評価を頂くことができなかった．
* 良い点
* 機能性，信頼性，使用性，効率性，移植性の5項目については，シニアマネージャとユーザから高い評価を頂いている．
* 本システムで重要と思われる合目的性，運用性，環境適用性が高い評価を頂いている．
* 効率性に関しては，Googleマップを利用するため，主記憶の使用量の削減と適切な処理能力の確保が達成できている．
* 悪い点
* 保守性の項目については，シニアマネージャとユーザからあまり高い評価を頂くことができなかった．
* 本システムは，欠陥の診断または故障原因の追及，および修正箇所の識別が行い辛いため，解析性はあまり高い評価ではなかった．
* 本システムを修正した時，表示されるGoogleマップに予期せぬ影響が出てくる可能性があるので，安定性は及第点という評価であった．
* 改定した本システムの妥当性は，ネットを介してGoogleマップに接続しなければ確認できないので，試験性は及第点という評価であった．

## 3.コスト(Cost)評価

## 3.1コスト評価の考え方

　　以下に，各成果物のコスト見積りとコスト実績，コスト差異を記載する．

表 2　コスト実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 成果物 | 見積り | 実績 | 差異 |
| 要件定義書 | 12 | 62 | -50 |
| プロジェクトマネジメント計画 | 60 | 72 | -12 |
| 中間発表資料 | 60 | 9 | +51 |
| 外部設計書 | 60 | 49 | +11 |
| コスト見積もり書 | 30 | 9 | +21 |
| 本契約書 | 30 | 6 | +24 |
| 内部設計書 | 60 | 46 | +14 |
| 実装 | 60 | 23 | +37 |
| テスト計画・報告書 | 60 | 15 | +45 |
| 納品書 | 15 | 6 | +9 |
| マニュアル | 15 | 13 | +2 |
| QCD評価報告書 | 15 | 10 | +5 |
| マネジメントレポート | 15 | 26 | -11 |
| 最終発表資料 | 60 | 8 | +52 |
| 合計 | 552 | 354 | 198 |
|  |  |  | 単位：時間 |

## 3.2コストの考察

　　プロジェクト開始時に決定した見積りは，適正でないことが数値から判断できる．

　　要件定義書は見積りが少なく，逆に中間発表資料，実装，テスト計画・報告書は見積りが多くなってしまっている．

　　この結果の要因として，各成果物の作業内容を把握出来ておらず，適正な見積りを行えなかったことが挙げられる．

## 4.納期(Delivery)評価

## 4.1納期評価の考え方

　　以下に，各成果物のスケジュール計画とスケジュール実績，スケジュール差異を記載する．

表 3　スケジュール実績

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 成果物 | 計画 | | | 実績 | | | 差異 | | |
| 開始 | 終了 | 期間 | 開始 | 終了 | 期間 | 開始 | 終了 | 期間 |
| 要件定義書 | 5/17 | 5/24 | 6 | 5/17 | 6/3 | 12 | 0 | -7 | -6 |
| プロジェクトマネジメント計画書 | 5/24 | 5/31 | 6 | 5/24 | 6/3 | 7 | 0 | -2 | -1 |
| 中間発表資料 | 5/30 | 5/31 | 2 | 5/29 | 5/30 | 2 | +1 | -1 | 0 |
| 中間報告 | 5/31 | 5/31 | 1 | 5/31 | 5/31 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 外部設計書 | 5/30 | 6/6 | 6 | 5/20 | 6/28 | 30 | +10 | -17 | -24 |
| コスト見積もり書 | 6/7 | 6/12 | 4 | 6/7 | 6/28 | 16 | 0 | -13 | -12 |
| 本契約書 | 6/12 | 6/14 | 3 | 6/12 | 6/28 | 13 | 0 | -11 | -10 |
| 内部設計書 | 6/13 | 6/21 | 7 | 6/10 | 7/5 | 20 | +3 | -11 | -13 |
| 実装 | 6/21 | 6/28 | 6 | 6/21 | 6/26 | 4 | 0 | +2 | +2 |
| テスト計画・報告書 | 6/21 | 7/4 | 12 | 7/4 | 7/12 | 7 | -13 | +7 | +5 |
| 納品書 | 7/5 | 7/11 | 5 | 7/11 | 7/12 | 2 | -6 | +1 | +3 |
| マニュアル | 7/5 | 7/11 | 5 | 7/12 | 7/19 | 8 | -7 | -8 | -3 |
| QCD評価報告書 | 7/8 | 7/11 | 4 | 7/12 | 7/19 | 8 | -5 | -8 | -4 |
| マネジメントレポート | 7/8 | 7/11 | 4 | 7/12 | 7/26 | 15 | -5 | -16 | -11 |
| 最終発表資料 | 7/12 | 7/18 | 5 | 7/19 | 7/26 | 8 | -6 | -9 | -3 |
| 最終報告 | 7/26 | 7/26 | 1 | 7/26 | 7/26 | 1 | 0 | 0 | 0 |

土日は含まない

## 4.2納期の考察

　プロジェクトは順調に開始されたが，ユーザのレビューが遅れたために押印を頂くことができず，各成果物の作成終了日が予定よりも大幅に遅れてしまった．

　　外部設計書は，手違いによりシステム構成図を早い段階で作成してしまったため，開始日が予定よりも10日早くなってしまった．また，業務フローとデータ設計の作成に時間が掛かってしまい，終了日も計画より17日伸びてしまった．それにより， 24日の遅れが出るという結果となった．

　　テスト計画・報告書，納品書は記載する内容が少なかったため，計画よりも早く作業が終了した．

　　全ての成果物の作成を7月19日までに終了するように計画していたため，大幅な遅延となってしまった．